

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	社会の理解Ⅱ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、地域、社会との関連から生活や福祉をとらえることができる。 ・社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を習得している。 ・障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ・成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関する制度の概要を理解している。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第1巻	第3章 第1節 生活と福祉 第2節 社会保証制度 第3節 障害者自立支援制度 第4節 介護実践にかかわる諸制度	30	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・地域における福祉サービスのありかた <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法 ・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	介護の基本Ⅱ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を習得している。 ・リスクの分析と事故防止、感染管理等介護における安全確保に関する知識。 ・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を習得している。 		
テキスト該当ページ	教育に含むべき事項	通信時間数	担当講師
第2巻	第2章 第1節 介護を必要とする人の生活の理解と支援 第2節 介護実践における連携 第3節 介護における安全の確保とリスクマネジメント 第4節 介護福祉の安全	20	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	≪指導の視点≫ ・連携について ・利用者のニーズ把握と介護実践 ・介護における安全とリスク ≪指導方法≫ ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法 ・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	コミュニケーション技術		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族とのコミュニケーション、相談援助の技術を習得している。 ・援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ・利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ・状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第2巻	第3章 第1節 <u>介護におけるコミュニケーション</u> 第2節 <u>介護におけるコミュニケーション技術</u> 第3節 <u>介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション</u> 第4節 <u>介護におけるチームのコミュニケーション</u>	20	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	≪指導の視点≫ ・相談援助 ・コミュニケーション技法 ・カンファレンス等における連携 ≪指導方法≫ ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	介護過程Ⅱ		
到達目標	・情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第3巻	第2章 第1節 介護職による介護過程の進め方 第2節 介護過程の実践的展開 第3節 施設で暮らす高齢者の介護課程 第4節 在宅で暮らす高齢者の介護過程	25	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・介護過程について ・ <u>介護計画の立案</u> ・連携について <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法 ・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	介護過程Ⅲ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ・介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、多職種・他機関との連携を行うことができる。 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。 		
テキスト該当ページ		通学時間数	担当講師
第3巻	第3章 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開 事例	45	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・介護過程について ・介護計画の立案 ・連携について <<指導方法>> ・介護過程の基礎知識と応用 ・演習（事例を用いたグループワーク・ロールプレイ）		
評価の方法・基準	実技試験 70点以上で合格 筆記試験 70点以上で合格 実技・筆記試験両方の合格により科目の修了を認定する。 （69点以下の者は再度、試験評価を行う）		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	発達と老化の理解 I		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う心理的な変化の特徴と、日常生活への影響を理解している。 ・老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第4巻	第1章 第1節 <u>心の変化と日常生活への影響</u> 第2節 <u>体の変化と日常生活への影響</u>	10	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・ <u>老化が及ぼす心理的影響</u> ・自己概念と生きがい <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法 ・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	発達と老化の理解Ⅱ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ・老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)と支援の留意点について理解している。 ・高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第4巻	第2章 第1節 人間の成長・発達 第2節 からだの変化と日常生活への影響	20	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・発達の定義、発達段階と発達課題 ・老年期の定義、心理的課題と適応 ・要介護状態と高齢者の心理 <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法 ・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	認知症の理解Ⅱ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ・認知症の人の生活歴、疾病、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第4巻	第4章 第1節 <u>医学的側面から見た認知症の理解</u> 第2節 <u>認知症の人や家族への支援の実際</u>	20	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・認知症の知識、診断、原因疾患とその病態 ・治療と予防、アセスメント ・チームアプローチ、 <u>家族へのレスパイトケア</u> <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法 ・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	障害の理解Ⅱ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。 ・障害児者の障害、家族、社会的関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第4巻	第6章 第1節 医学的側面から見た障害の理解 第2節 障害児者への支援の実際	20	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・障害に関する医学的知識 ・障害者・児への支援について <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	こころとからだのしくみⅡ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得している。 ・生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・筋肉、ボディメカニクス等、身体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。 ・身体のしくみ、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、多職種連携が行える。 		
テキスト該当ページ		通信時間数	担当講師
第4巻	第8章 第1節 <u>人間の心理</u> 第2節 <u>人体の構造と機能</u> 第3節 <u>移動・移乗における観察のポイント</u> 第4節 <u>食事における観察のポイント</u> 第5節 <u>入浴・清潔保持における観察のポイント</u> 第6節 <u>排泄における観察のポイント</u> 第7節 <u>着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント</u> 第8節 <u>睡眠における観察のポイント</u> 第9節 <u>終末期における観察のポイント</u>	60	住 壽美子 尾崎 裕子 藤田 茂美
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・ <u>人間の心理</u> ・生命の維持・恒常のしくみ ・ <u>からだのしくみ</u> ・変化に気づくための観察ポイント ・終末期の変化の特徴 <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。		
評価の方法・基準	・提出されたレポートの評価は70点以上を合格とする。70点未満の場合は再提出し、合格するまで再提出、またeラーニングの場合も70点以上をクリアしなければ、その学習課題は修了とならない。		

介護福祉士実務者研修授業概要（シラバス）

平成30年4月20日現在

科目名	医療的ケア			
到達目標	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。			
テキスト該当ページ		通信時間数	面接授業	担当講師
第5巻	第1章 医療的ケア実施の基礎 第2章 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 第3章 経管栄養(基礎的知識・実施手順) 第4章 演習	50	規定回数	中西 繁子
指導の視点と指導方法	<<指導の視点>> ・医学的知識の習得 ・喀痰吸引、経管栄養の知識及び演習を通じて実技の習得 <<指導方法>> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。 ・面接授業においては、適切な実施が行えているか確認、指導を行う。			
評価の方法・基準	<通信授業> ・レポート提出課題等により、習得度の確認と質問表を用いて自己学習 ・レポートは、提出期限を遵守し提出する。また評価添削したものを返送する。 ・eラーニングの場合は、eラーニング専用Webページにて回答し合格点に達するまで繰り返し学習をする。 ・質問に関しては、FAX、郵便、またはEメール、eラーニング専用Webページにて受付し、担当講師が回答する。 <面接授業> ・喀痰吸引 口腔内、鼻腔内吸引、気管カニューレ内部それぞれのシミュレーター演習を5回以上、指導評価によって平均60点以上で合格とする。 ・経管栄養 胃ろう又は腸ろう・経鼻、それぞれのシミュレーター演習を5回以上、指導者評価によって平均6.0点以上で合格とする。 ※通信・演習(喀痰吸引、経管栄養)、両方の合格により修了を認定する。			